保存40年

2019 年 2 月 14 日受付番号 12128

報告番号 87202

製品中のアスベスト含有調査報告書

株式会社 MonotaRO 様

貴社より委託を受けた石綿分析の結果は、下記に記載したとおりであることを証明します。 ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

記

実施した分析方法 JIS A1481-2 (X線回折分析方法、位相差分散顕微鏡法) ※アスベスト分析マニュアル第4章

1. 分析を実施した石綿分析機関

名 称	株式会社	:笑顔と生活第	安全分析センター	代表者氏名	Щ	島	博	Ø
所 在 地		₹113-002	〒113-0021 東京都文京区本駒込五丁目57番地6号 1F					
// 11. 16		TEL:	03-3823-2931	FAX:	03-64	12-99	06	
登録番号(作業	環境測定機	對)	_					
連絡担当者		業務部 川 島 博						
氏 名		資格取得狀況						
川島	博	公益社団法人日本作業環境測定協会(JIS A1481-2 Aランク 認定No.1810A0002)			0002)			
川島	博	公益社団法人東京都労働基準協会連合会(石綿作業主任者 No. 459064)						

2. 分析を実施した年月日

分析実施日	2019年2月13日	~	2019年2月14日

3. 物件名称

物件名称

4. 試料採取履歴

	V/TINAN/Q/IE							
	設備、機器、部品等の 名称及び用途		モノタロウ ブレーキパッド					
名和			月途 ブレーキパッド					
	工年及び建築物への エなどを採用した年	-						
	取等の指示(判断)者 所属・氏名・資格	-						
採耳	取者所属・氏名・資格	-						
試料 No.	試料名称		採取場所	採取部位	部品名称	別添データ No.		
1	モノタロウ ブレーキパッド 2077-0050		未使用品	ブレーキパッド	モノタロウ ブレーキパッド 2077-0050	別添1		
2	以下余白							
3								
4								
5	_							

5. 分析結果

	V1/14/14								
			定性分析結果			石綿含有判定結果			別添データ
試料 No.	試料名称	X線	回折分析法	分	散染色法	石綿の 石綿の		石綿の石綿含有	
		石綿の 有無	石綿の 種類	石綿の 有無	石綿の 種類	有無	種類	率 (%)	
1	モノタロウ ブレーキパッド 2077-0050	無	ı	無	-	無	ı	0.1以下	別添1
2	以下余白								
3									
4									
5									
備考	2								

注1) 種類の項には、次の記号で記載している。

Chr:クリソタイル Amo:アモサイト Cro:クロシドライト Tre/ Act:トレモライト/アクチノライト Ant:アンソフィライト

1.使用した測定機器

1.1 X線回折装置の製造業者、型式

X線回折装置の製造業者・型式	製造業者	株式会社島津製作所
7、豚四切表直の表垣未有・至八	型式	XRD-6100

1.2 位相差・分散顕微鏡の製造業者、型式

顕微鏡の製造業者・型式	製造業者	オリンパス株式会社
興	型 式	BN51N-DPH
照明系	型 式	透過ケラー照明内臓12V-100WHAL-L
コンデンサー	型 式	U-PCD-2
対物レンズ	型式	PlanN DS Ph1×10, UPlan Ph2×40

2. X線回折装置による定性分析条件

設定項目等	測定条件等
X線対陰極	Cu
管 電 圧 (kV)	40
管 電 流 (mA)	30
単色化(K _β 線の除去)	グラファイトモノクロメーター
フルスケール(cps)	2000
時 定 数 (s)	1
走査速度(°/min)	2
発 散 スリット(°)	1
散 乱 スリット(°)	1
受 光 スリット(mm)	0.3
走 査 範 囲 (°,2 θ)	5~70

1. 試料採取履歷 (詳細)

受入れ年月日	2019年2月13日		
試料No.	試料No. 1		
試料の概要 (形式は材質、試料の大きさ	形状又は材質	モノタロウ ブレーキパッド 2077-0050	
	採取試料寸法	JIS A 1481-2 試料の採取法準拠	
、採取方法)	試料採取方法	JIS A 1481-2 試料の採取法準拠	

2. 一次分析試料の作製方法 (試料粉砕方法)

粉砕に使用した粉砕機の名称	粉砕器の名称 超遠心		むカカッター及びアルミナ乳鉢		
及び型式	粉砕機の製造業者・型式		IKAジャパン A11SI型 他		
標準ふるいの目開き	75 , $425~\mu$ m				

※ 一次分析試料の加熱処理を実施した場合

使用した分析機器		電気炉				
分析機器		分析機器の名称 電気マッフル炉				
		分析機器の製造業者・型式 東洋勢		東洋製作	作所 FUL210FA	
八七七里の冬州	電气炉	温度(℃)	450			
分析装置の条件 電気炉		加熱時間(min)	60			
加熱処理前の一次分析試料の秤量値		加熱処理後の一次分析試料の秤量値		減量率		
(g)		(g)		(r)		
-				_		

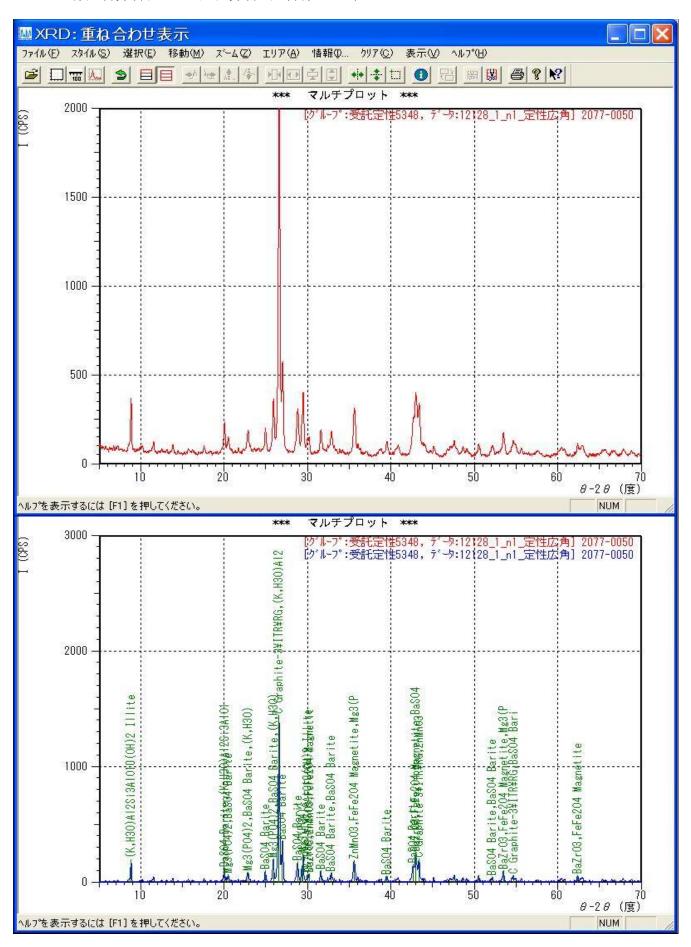
3. 判定結果

3.1 X線回折分析法による定性分析

3.1.1 X線回折分析による定性分析結果

石綿の種類	定性分析結果
クリソタイル	無
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト/アクチノライト	無
アンソフィライト	無

3.1.2 X線回折分析法による定性分析 回折線プロファイル



3.2 位相差・分散顕微鏡法による定性分析

3.2.1 分析室の温度

分析室の温度(℃)	25.0
-----------	------

3.2.2 分析結果記入欄

・石綿名称 (クリソタイル)

屈折率 n_D^{25} 1.550

試料 No. 計数視!	計数視野数	計数粒子数	分散色を呈した粒子数(個数)		
No. 可数处野级		(個数)	アスペクト比3以上の繊維数	粒子数	
1	111	1000	0	0	
2	113	1000	0	0	
3	114	1000	0	0	
合計	338	3000	0	0	

・石綿名称 (アンソフィライト)

屈折率 n_{D}^{25} = 1.618

試料 No.	計数視野数	計数粒子数	分散色を呈した粒子数(個数)		
No. 可数规野级		(個数)	アスペクト比3以上の繊維数	粒子数	
1	112	112 1000 (0	
2	113	1000	0	0	
3	117	1000	0	0	
合計	342	3000	0	0	

•石綿名称 (トレモライト/アクチノライト)

屈折率 $n_D^{25^{\circ}}=$ 1.620

試料 No. 計数視野	計数視野数	計数粒子数	分散色を呈した粒子数(個数)		
No. 可数视野级		(個数)	アスペクト比3以上の繊維数	粒子数	
1	114	1000	000 0		
2	118	1000	0	0	
3	121	1000	0	0	
合計	353	3000	0	0	

・石綿名称 (アモサイト)

屈折率 $n_D^{25^{\circ}}=$ 1.680

試料 No.	計数視野数	計数粒子数	分散色を呈した	と粒子数(個数)
No. 可数规可数		(個数)	アスペクト比3以上の繊維数	粒子数
1	118	1000	0	0
2	119	1000	0	0
3	122	1000	0	0
合計	359	3000	0	0

・石綿名称 (クロシドライト)

屈折率 $n_{\scriptscriptstyle D}^{^{25} C} = 1.690$

試料	≥1. */r →日 田マ */r	計数粒子数	分散色を呈した粒子数(個数)		
No. 計数視野数		(個数)	アスペクト比3以上の繊維数	粒子数	
1	114	1000	0	0	
2	115	1000	0	0	
3	118	1000	0	0	
合計	347	3000	0	0	

3.2.3 位相差・分散顕微鏡法による定性分析結果

石綿の種類	定性分析結果
クリソタイル	無
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト	無
アクチノライト	無
アンソフィライト	無

3.3 X線回折分析法及び位相差・分散顕微鏡法の定性分析結果に基づく最終判定結果

	定性分析結果			最終判定結果	
	X線回折分析法	分散染色法			
石綿の種類	回折線ピークの有無	3000粒子中の アスペクト比が 3以上の繊維数	石綿の有無	石綿含有の有無	
クリソタイル	無	0	無	無	
アモサイト	無	0	無	無	
クロシドライト	無	0	無	無	
トレモライト	無	0	無	無	
アクチノライト	無	0	無	無	
アンソフィライト	無	0	無	無	

※X線回折分析法による定性分析(有)で、分散染色法(無)の場合で、石綿含有(無)と判定した場合の 確認方法

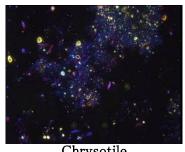
観察された分散色	アナライザー使用の場合の分散色		判定した鉱物等
	偏光板丄方向	偏光板 // 方向	の名称
-	-	-	-
_	-	_	_
_	-	_	_
_	-	_	_
	観察された分散色 - - - -	■ 観察された分散色	観察された分散色

偏光板」方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が直交した場合を示す。

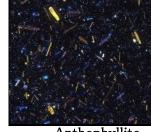
偏光板 // 方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が平行になった場合を示す。

位相差・分散顕微鏡法による標準及び分析用試料の分散色の写真 (×100)

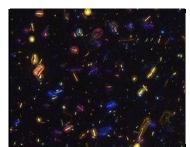
標準試料の分散色



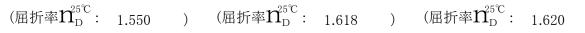
Chrysotile



Anthophyllite



Tremolite/Actinolite

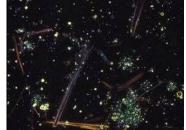




Amosite(Grunrite)



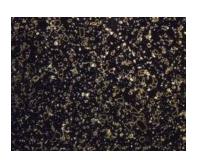
Crocidolite (Riebeckite)



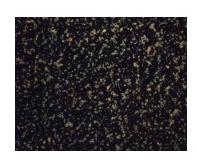
Crocidolite (Riebeckite)

(屈折率 $\Omega_{\rm D}^{25\%}$: $_{1.680}$) (屈折率 $\Omega_{\rm D}^{25\%}$: $_{1.680}$) (屈折率 $\Omega_{\rm D}^{25\%}$: $_{1.690}$)

分析用試料の分散色

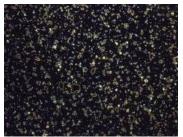


(屈折率**吖**25℃: 1.550)





(屈折率 $\mathbf{\Pi}_{\mathrm{D}}^{25^{\circ}\mathbb{C}}$: 1.618) (屈折率 $\mathbf{\Pi}_{\mathrm{D}}^{25^{\circ}\mathbb{C}}$: 1.620)









(屈折率 $\mathbf{\Pi}^{25\mathbb{C}}_{\mathrm{D}}$: 1.680) (屈折率 $\mathbf{\Pi}^{25\mathbb{C}}_{\mathrm{D}}$: 1.690) (屈折率 $\mathbf{\Pi}^{25\mathbb{C}}_{\mathrm{D}}$: –